

# 庄原市立庄原中学校 第3学年 外国語(英語)科 学習指導案

## 単元名: Presentation②「修学旅行」

指導者 庄原市立庄原中学校 教諭 松浦 優樹

日時 平成28年7月11日(月)  
学年 3年

### 単元について

中学校学習指導要領(平成20年)外国語の内容(1)言語活動の「書くこと」における指導事項の一つに、「(オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して書くこと。」と示されている。また、中学校学習指導要領解説外国語編(平成20年)では、「一文一文を正しく書くだけでなく、例えばsoやthenなどの接続詞や副詞も使って、文と文の順序や相互の関連にも注意を払い、全体として一貫性のある文章を書くようにすることが大切である。」と述べられている。しかし、文部科学省が示した「生徒の英語力向上推進プラン」(平成27年)では、中学生の英語力について、特に「書く」・「話す」に課題があり、書いたり話したりする活動を通して、自分の考えを相手に伝える言語活動が十分に行われていないことが指摘されている。そこで、本単元では、パラグラフ内の構造、結束性、一貫性のルールや文章の書き方についての段階的な指導を行う。また、修学旅行という本単元の内容を踏まえ、「ALTのために広島観光プランを作成し紹介する」というリアルなコミュニケーションの場面を設定し、自分の考えを発信させる課題解決的な言語活動の充実を図る。本単元のテーマや言語材料を生かしたこのような言語活動を設定することで、生徒の主体的な学びを促し、まとまりのある文章を書く力を高めることができると考える。

### 生徒実態からみる指導上の課題

「基礎・基本」の調査問題及び「質問紙」の結果から、次の二つの課題が考えられる。

- 【課題1】文章の結束性や一貫性、パラグラフ内の構造の特徴を生徒自身に気付かせながら、まとまりのある文章を書く必要性を実感させる指導が十分でない。
- 【課題2】生徒自身が知識や技能を活用し課題を解決するなどの主体的な学びが十分に行われていない。

### 指導改善のポイント

本単元で付けたい力及び上記の「生徒実態からみる指導上の課題」から、指導改善のポイントを次の2点に焦点化した。

- 【ポイント1】「まとまりのある文章」を書かせるために、結束性、一貫性、パラグラフ内の構造の特徴を生徒自身に気付かせさせる指導を行う。まず、二種類の文章を提示して比較させ、それらの文章の違いを話し合わせたり、話し合いから出た気づきをクラスで共有させたりする。それらの気づきを基に、段階的にまとまりのある文章を書かせる。
- 【ポイント2】リアルなコミュニケーションの場面を設定するために、課題解決型の単元を設定し、【課題1】で示したまとまりのある文章を書かせる指導と組み合わせる。生徒自身が解決に向けて情報収集の方法などを決め、得た知識や技能を活用し、解決することで主体的な学びを促す。

### 単元の目標と評価規準

<単元の目標>

- (1) より良い紹介文を書くために、ペア活動などを通して積極的に学習活動に取り組んでいる。  
相手に自分の考えを伝えるために、表現方法を工夫している。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 正しい英文を書くだけでなく、結束性、一貫性、パラグラフ内の構造についての知識を生かして、内容的にまとまりのある文章を書くことができる。  
(外国語表現の能力)
- (3) 結束性、一貫性、パラグラフ内の構造についての知識を身に付けている。  
(言語や文化についての知識・理解)

<評価規準>

|   |  |            |   |
|---|--|------------|---|
| ア コミュニケーションへの<br>関心・意欲・態度   | イ 外国語表現の能力   | ウ 外国語理解の能力 | エ 言語や文化についての<br>知識・理解   |
| ①より良い紹介文を書くために、学習活動に取り組んでいる。<br>②読み手が理解しやすいように書いたり、書き直したりしている。<br>③間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図っている。 | ①文と文のつながりを意識しながら、紹介文を書くことができる。<br>②前後の文のまとまりを意識しながら、紹介文を書くことができる。<br>③パラグラフ内の構造を意識しながら、紹介文を書くことができる。 | /          | ①接続詞や代名詞、語彙の言い換え（結束性）についての知識を身に付けている。<br>②一つの話題について文章を書くこと（一貫性）についての知識を身に付けている。<br>③パラグラフ内の構造についての知識を身に付けている。 |

### 指導と評価の計画

(全 8 時間)

| 次 | 学習内容 (時数)   | 評 価 |   |   |  |                   |
|---|---|-----|---|---|--|-------------------|
|   |   | 関   | 表 | 知 | 評 価 規 準  | 評価方法              |
| 一 | ALTの提示する課題を解決するためのプランを決める。<br>【課題を知る (見付ける)】        | ○   |   |   | ア①より良い紹介文を書くために、積極的に学習活動に取り組んでいる。                                    | ワークシート<br>行 動 観 察 |
| 二 | ALTにインタビューするなどして、必要な情報を集める。<br>【情報の収集】              | ○   |   |   | ア①より良い紹介文を書くために、積極的に学習活動に取り組んでいる。<br>ア③間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図っている。  | ワークシート<br>行 動 観 察 |
| 三 | 集めた情報を取捨選択し、紹介文のアウトラインを書く。<br>【情報の整理】               | ○   |   |   | ア①より良い紹介文を書くために、積極的に学習活動に取り組んでいる。                                    | ワークシート<br>行 動 観 察 |
| 四 | 結束性のある文章を書く。【本時】 (1)<br>【表現】                        |     | ◎ | ○ | イ①文と文のつながりを意識しながら、紹介文を書くことができる。<br>エ①接続詞や代名詞、語彙の言い換えについての知識を身に付けている。 | ワークシート<br>ワークシート  |
|   | 前時で書いた文章を用いて、一貫性のある文章を書く。(1)<br>【表現】                |     | ◎ | ○ | イ②前後の文のまとまりを意識しながら、紹介文を書くことができる。<br>エ②一つの話題について文章を書く知識を身に付けている。      | ワークシート<br>ワークシート  |
|   | パラグラフ構成に留意しながらペアやグループで紹介文を読み合い、加筆・修正を行う。(1)<br>【表現】 |     | ◎ | ○ | イ③パラグラフ内の構造を意識しながら、紹介文を書くことができる。<br>エ③パラグラフ内の構造についての知識を身に付けている。      | ワークシート<br>ワークシート  |
| 五 | 紹介文を修正し、プレゼンテーションに向けて、発表方法を工夫し、練習する。<br>【まとめ】       | ○   |   |   | ア②読み手が理解しやすいように書いたり、書き直したりしている。                                      | ワークシート            |

|   |  |   |                                |                |
|---|--|---|--------------------------------|----------------|
| 六 | ALTにプレゼンテーションを行う。これまでの学習を振り返る。<br>【発表】【振り返り】 | ○ | ア③間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図っている。 | プレゼンテーション自己評価表 |
|---|--|---|--------------------------------|----------------|

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

○結束性のルールを知り、アウトラインを用いて「結束性のある文章」を書くことができる。

### (2) 本時の評価規準

◎文と文のつながりを意識しながら、紹介文を書くことができる。(イ 外国語表現の能力)

○接続詞や代名詞、語彙の言い換えについての知識を身に付けている。

(エ 言語や文化についての知識・理解)

### (3) 準備物

○教科書、ワークシート、Super Input、振り返り表、辞書、電子黒板

### (4) 本時の展開

| 学習活動                                | 指導上の留意事項<br>○：Bと判断される生徒への手立て<br>◆：Cと判断される生徒への手立て  | 評価規準   | 評価方法 |
|-------------------------------------|---|--|------|
| <b>1 ウォームアップを行う (3分)</b>            |   |  |      |
| ・あいさつをする。<br>・Super Input でペア学習をする。 | ・最初の1分ずつは、Super Input で接続詞の確認をさせる。  |  |      |
| <b>2 本時のめあてとすることがらを学習する (42分)</b>   |   |  |      |
| ・本時のめあてを確認する。                       | 「つながりのある文章」のルールを知り、アウトラインを用いて「つながりのある文章」を書くことができる。  |  |      |
| ・「つながりのある文章」のルールを知る。                | ・「指示」「接続関係」「語彙の言い換え」のそれぞれについて、二種類の文章を提示し、比較させ、違いに気付かせる。<br><br>【例】「指示」<br>「指示」を使っていない<br>I have a friend. A friend name is Ichiro. Ichiro is my best friend. Ichiro is very kind and Ichiro is very funny.<br>Ichiro likes soccer. Ichiro wants to be a soccer player. Soccer player is very cool, Ichiro said.<br>If you have time, please talk to Ichiro.<br><br>【例】「接続関係」<br>「接続関係」を使っていない<br>I like playing basketball. I'm in the basketball team. I'm a captain. Our team is not strong. We always do our best. We want to be a champion someday. | 「指示」を使っている<br>I have a friend. His name is Ichiro. He is my best friend. He is very kind and funny.<br>He likes soccer. He wants to be a soccer player. It is very cool, he said.<br>If you have time, please talk to him. |      |
|                                     | 「接続関係」を使っている<br>I like playing basketball. I'm in the basketball team and I'm a captain. Our team is not strong but we always do our best. Because we want to be a champion someday.  |  |      |

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>・「つながりのある文章」のルールを確認する。</p>  | <p>【例】「語彙の言い換え」</p> <p>「語彙の言い換え」を使っていない<br/>I like <i>Doraemon</i>. I always watch it on Friday. I like <i>Doraemon's</i> magical tools. They are great. Especially <i>Dokodemodoor</i> is great. I want to make great tools someday.</p>   | <p>「語彙の言い換え」を使っている<br/>I like <i>Doraemon</i>. I always watch it on Friday. I like <i>Doraemon's</i> magical tools. They are great. Especially <i>Dokodemodoor</i> is wonderful. I want to make excellent tools someday.</p> |
|  | <p>・最初に個人思考をさせ、見付けた違いをノートに書かせる。</p> <p>○違いが分かっていても表現できない生徒への支援として、ペアで相談させる。</p> <p>◆違いが分からない生徒への支援として、机間指導を行い、ヒントを与える。</p> <p>・「語彙の言い換え」は見付けることが困難なため、ヒントを与える。</p> <p>・ペアで違いや気付きなどを交流させる。</p> <p>・交流したことを、いくつかのグループに発表させ、全体交流をさせる。</p> <p>・「語彙の言い換え」は、どのような単語が同じ意味を表すのか、考えさせる。</p>  | <p>生徒に提示するときは、<br/>「支持」＝「代名詞」<br/>「接続関係」＝「接続詞」<br/>「語彙の言い換え」＝「違う単語」とする。</p>  |
|  | <p>【予想される生徒の発表】</p> <p>「指示」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左の文章は、同じ人の名前が何度も出てくる。</li> <li>・左の文章は、代名詞が使われていない。</li> <li>・右の文章の方が左の文章よりも短い。 ・右の文章はまとまって見える。</li> </ul> <p>「接続関係」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左の文章は、文がつながっていない。</li> <li>・左の文章は、接続詞を使って二つの文を一つにできそう。</li> </ul> <p>「語彙の言い換え」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左の文章は、同じ単語が何度も出てくる。</li> <li>・右の文章は、違う言い方をしている。</li> </ul> |  |
| <p>・全体交流で出た気付きを基に、「つながりのある文章」のルールを確認させる。</p> <p>・代名詞や接続詞、語彙の言い換えについて、簡単に確認をさせる。</p>  |   |  |
| <p>【「つながりのある文章」のルール】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 同じ人の名前や物の名前が何度も出てくるときは、<b>代名詞</b>を使う。</li> <li>2. 同じことや反対のこと、理由などを説明するときは、<b>接続詞</b>を使って、文と文をつなぐ。</li> <li>3. 何度も同じ単語を使わずに、意味が似ていたりするものは、<b>違う単語で表現</b>する。<br/>(例)「すばらしい(良い)」を表現しようと思ったら、<br/>OK, good, great, wonderful, excellent などたくさんありますよ!</li> </ol> |   |  |

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトラインを「つながりのある文章」にする。<br/>【結束性を高める】</li> <li>・ペアで文章を読み合い、「つながりのある文章」になっているか、確認する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つながりのある文章」のルールを意識させながら、アウトラインを用いて文章を作成させる。</li> <li>・書き方が分からない、または疑問がある場合は、ペアで相談させる。</li> <li>・机間指導を行い、「つながりのある文章」を書いているか確認をする。</li> <li>○分からない表現は、辞書を使わせる。</li> <li>◆代名詞や接続詞などがうまく使えない生徒への支援として、アウトラインを使ってヒントを与え、適切な表現に気付かせる。</li> <li>・互いに確認させる前にもう一度ルールを確認し、共通認識をもたせる。</li> <li>・正しく書けていないと思うところには、朱で線を引かせ、なぜおかしいと思うかを互いに説明し合わせ、修正させる。</li> <li>・良かったところや、分かりやすかったところなどを互いに伝え合わせる。</li> <li>・机間指導を行いながら、下記の判断基準に基づき、評価する。</li> </ul> | <p>文のつながりを意識しながら、紹介文を書くことができる。(イ①)<br/>接続詞や代名詞、語彙の言い換えについての知識を身に付けている。(エ①)</p> |  |
|---|--|--|--|

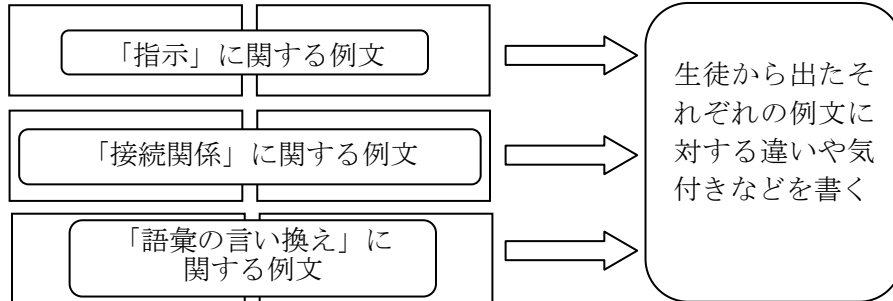
| 評価 | 判断基準（外国語表現の能力）  |
|----|---|
| A  | 文章を読むのに支障のない誤りが1, 2か所あるが、「つながりのある文章」のルールを活用して文章を書くことができている。   |
| B  | 文章を読むのに支障のない誤りが3～5か所あるが、「つながりのある文章」のルールを活用して文章を書くことができている。  |
| C  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読むのに支障のない誤りが6か所以上あり、「つながりのある文章」のルールを活用して文章を書くことができている。</li> <li>・「つながりのある文章」のルールを活用して文章を書くことができている。</li> <li>・文章を書いている。</li> </ul> |

| 評価 | 判断基準（言語や文化についての知識・理解）                                   |
|----|---|
| A  | 文章を読むのに支障のない誤りが1, 2か所あるが、「つながりのある文章」のルールに必要な知識を身に付けている。 |
| B  | 文章を読むのに支障のない誤りが3～5か所あるが、「つながりのある文章」のルールに必要な知識を身に付けている。  |
| C  | 文章を読むのに支障のない誤りが6か所以上あり、「つながりのある文章」のルールに必要な知識を身に付けていない。  |

| 3 本時の振り返り、次時の学習内容を確認する（5分）   |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめをする。</li> <li>・本時の振り返りをする。</li> <li>・次時の学習内容と課題を知る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つながりのある文章」のルールに基づいた問題を行い、ルールを再確認させる。</li> <li>・どのようなことに意識しながら話合いを行ったのかなどを自己評価カードに具体的に書かせる。</li> <li>・本時の学習活動について、指導者からの評価を伝え、次時の学習内容を確認させる。</li> </ul> |  |  |

## 板書計画

ねらい 「つながりのある文章」のルールを知り、アウトラインを用いて「つながりのある文章」を書きすることができる。



It's Monday.

It's July 11<sup>th</sup>.

